

# 災害ボランティアセンターの取り組み

町と町社会福祉協議会との間の災害協定により、今回の東日本大震災における災害ボランティアセンターの運営については、町社会福祉協議会が実施しています。今回はその災害ボランティアセンターの取り組みについてご紹介します。

災害ボランティアセンターでは、震災当初から、ボランティアが殺到し、その受け入れ体制の整備や炊き出し調整、

救援物資の仕分け協力、ボランティアのニーズ調査、ガレキ処理等山積する課題に取り組んできました。その中で、

みならず漁業支援や農業支援という形に変化しながら活動しています。

しかし、復興に向けて自分の足で歩き出した地域、まだそこへ行くまでには外部の支援が必要な地域など、場所によって被害の状況、支援の円滑さ、復興の早さは全く違ってきます。

今後は復興状況を踏まえながら災害ボランティアセンターの運営をして行くこととなりますが、当町では未だボランティアの方々の力を必要としている状況です。

私たちに、こうした日本全国を始めとする世界各国からのボランティアの方々に対する感謝を忘れることなく、早期に復興していくことが求められています。



登米市社協、栗原市社協、西日本社協、社団法人・NPO・NGO、学校、企業等、また長期ボランティアを始めとする個人ボランティアの方々から多大なご協力をいただき、被災者支援活動をしてきました。

## ボランティア活動の一部

### ①片付け作業

浸水区域における居住地や河川、沿岸の広範囲に及ぶガレキの片付け作業を、大小問わず実施していただいておりますが、すべて終了しているわけではありません。また、大きなガレキは撤去されても水中にある小さなガレキは相当数ある状況で、ダイバーの方に協力をいただいております。



### ②土嚢（どのお）づくり

定置網や生簀（いけす）の設置、溪流ロープの設置等漁業には欠かせない物のひとつですが、津波により、網や生簀ごと土嚢もバラバラになったため、膨大な数の土嚢を作りなおしています。



### ④農業支援

農業復興のため、農協と連携しながら、浸水した農地の開拓やハウス整備等の作業の手伝いをしています。



### ⑥その他の活動事例

#### 草刈り作業

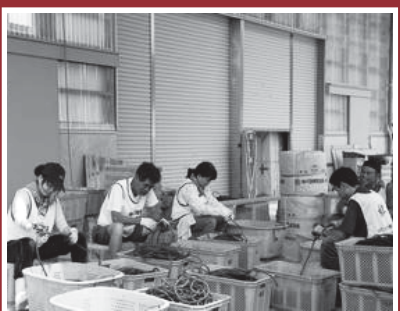


#### 側溝整備



### ③漁業支援

漁業復興のため、漁協と連携しながら、網の修理やワカメの種付け、ホタテの養殖準備等の作業の手伝いをしています。



### ⑤思い出写真館

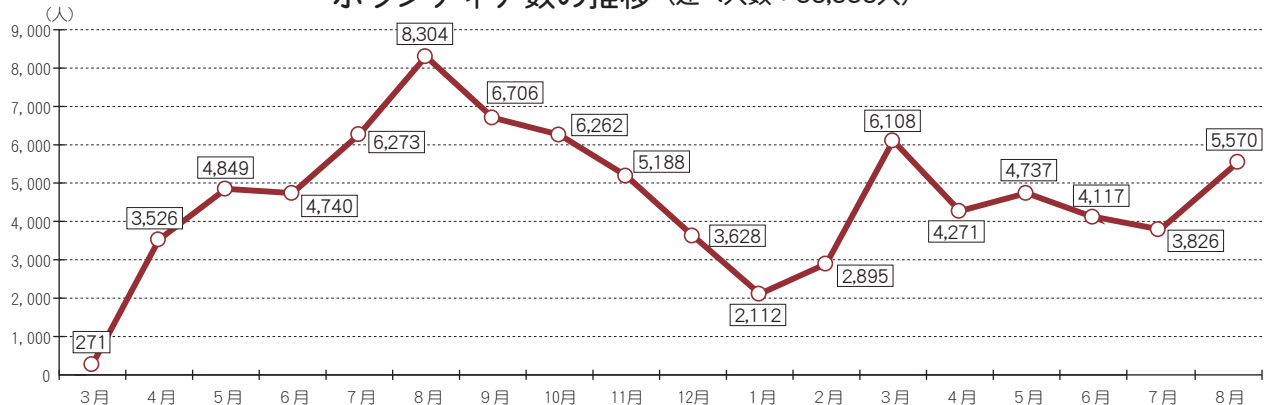
回収した写真を洗浄し、データ化しています。ボランティアセンター内にてパソコンで検索出来るようになっていきますので、お気軽にお立ち寄りください。



#### サロン運営



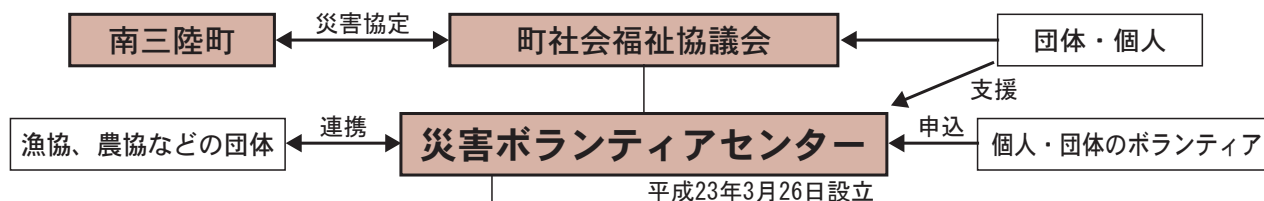
ボランティア数の推移（述べ人数：83,383人）



### 問い合わせ

ボランティア関係 災害ボランティアセンター ☎46-4088 (受付時間 午前9時から午後3時30分)  
被災者支援関係 保健福祉課被災者支援係 ☎29-6451

【南三陸町災害ボランティアセンターの業務と体制】



- 個人・団体受付
- ボランティア保険受付
- 当日作業マッチング
- 作業説明
- 災害時注意喚起
- 団体ボランティア事前予約・受付管理
- 来所した被災者のニーズ受付
- 電話対応
- 炊き出し調整
- イベント調整
- その他特殊ボランティアの受け入れ調整
- 翌日予定作業のとりまとめ
- 物資資材管理
- 思い出写真館の運営

### ボランティア参加者の1日の流れ

8:30～ 9:00 受付、作業説明  
9:00～16:00 各現場での作業  
長期ボランティアの方が現場リーダー（オレンジ色のビブス）となり、指示しています。  
16:30 帰宅

震災当初は、個人宅からの要望を踏まえ、ガレキ片付け・泥出し・清掃・家財搬出等のボランティア活動をしてきましたが、現在は片付け作業のほか、漁協・農協等と連携した活動が中心となっています。現在でも、個人宅からの相談などを受け付けていますので、詳細は災害ボランティアセンターまで問い合わせください。